

職員による自己評価

A 環境面

毎日の清掃で教室内のデスクガードや教材、机、椅子、クッションなどを除菌し、使い終わると、そのつど除菌しているので清潔かつ安全に保たれている。

B 児童への支援内容

毎日のミーティングで各児童の情報を共有し、その日の療育内容について話合っている。

それをもとに各児童の特性に応じた適切な指導をし、自己肯定感を育んでいる。

C 関係機関との連携

オンライン部会もあるが出席できる会議には積極的に参加し、情報収集をしている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

保護者が送迎されるのが基本なので、そのときに保護者に直接その日の療育内容をきめ細かく報告している。保護者の必要に応じて適切な助言や支援をしている。

E 非常対応

入所時にアレルギーや持病について確認しあっている。  
定期的に避難訓練をしている。

保護者による評価

A 環境面

CO<sup>2</sup>濃度測定器や空間除菌脱臭機、学習机にはデスクガードが設置され、感染症対策がなされている。療育スペースも清潔に適切に保たれている。

B 児童への支援内容

児童の特性や状況を保護者と緊密に連絡を取りながら適切かつ、きめ細かな療育をしてもらっている。指導員も手厚く配置されている。

C 事業所からの情報発信

毎月発信されるあさがお通信やホームページ等から情報を得ている。

D 非常対応

災害用補助備蓄品やヘルメットの用意があり、避難訓練も定期的に行っていると説明を受けている。目の前の小学校が指定避難場所のため、避難しやすく安心している。

事業所内での分析

【共通点】

教室内も常に除菌して清潔に保ち、スタッフがマスク着用を徹底しているので、インフルエンザ等の感染症を広げることなく体調不良者を最小限にとどめることができた。その結果、保護者からは安心して継続的に通所できると満足していただいている。

療育内容については、保護者からは概ねご満足いただけている。

【相違点】

働いている保護者からは、送迎サービスと多少の時間延長があると一層ありがたいと言われている。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

取り組む課題が各児童に合わせて設定されている。毎日、指導員全員でミーティングをし、その日の児童の特性や能力に応じて課題に取り組めるよう適切な支援をしている。その日の状況も考慮しながら、児童に合わせて、きめ細かく自己肯定感が高まるよう支援している。送迎の際、保護者にその日の療育状況を報告し、子どもの療育に活かしている。

### 事業所の改善点

情報発信について、全員の保護者が見ているとは限らないので、今後も同じことでも繰り返し、分かりやすく伝えて行くように改善する。

### 事業所の改善への取り組み

情報を発信していても見逃している保護者も見受けられるので、引続き、確実に伝わっているか確認するよう工夫していく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

療育内容や日々の保護者対応については、多くの保護者から信頼とご満足いただけている。集中力がつき、計算力もつき、自己肯定感が高まったなどのお声をいただいています。これからも職員一同、日々子ども達に真摯に向き合い、療育に励んでいきます。